

# 放射線教育

VOL. 28 NO. 1 別冊

## 放射線教育フォーラム 2024 年度活動報告

	頁
1. NPO 法人放射線教育フォーラムの活動概要	1
2. NPO 法人放射線教育フォーラムの 2024・2025 年度役員名簿	2
3. 通常総会、理事会、勉強会等の開催記録	3
4. 放射線教育誌及びニュースレターの発行	4
5. 令和 6 年度通常総会報告	6
6. 設立 30 周年記念式典・祝賀会	10



# 1. NPO 法人放射線教育フォーラムの活動概要

NPO 法人放射線教育フォーラムは、1994 年に設立された放射線、放射性物質、原子力の専門家および学校教員の有志により構成されるボランティア組織で、2000 年に NPO 法人の認証を受けた。2024 年 11 月に設立 30 周年記念式典・祝賀会を開催し、「放射線教育」誌の設立 30 周年記念号を発行した。

2024 年度の通常総会と第 1 回勉強会は対面で、第 2 回勉強会はオンラインで開催した。勉強会のオンライン開催は新型コロナウイルス感染症の流行により始まったが、遠方に在住する者からは対面よりもオンライン開催を希望する声が強い。一方、対面での勉強会における質疑応答や資料の印刷物での配布を望む声もある。両者に配慮して勉強会をハイブリッドで開催することを検討している。KKR ホテル東京で行われた設立 30 周年記念式典・祝賀会では Zoom ミーティングによる中継を試みた。

当フォーラムは、理科と社会科教育における放射線教育を改善し、国民が正しく総合的な知識を身につけるために、放射線教育に意欲のある教員の支援に重点を置いて勉強会を企画・開催している。勉強会では、放射線利用や放射線影響などに関する興味深い研究成果や研究施設を紹介すると共に放射線教育の実践報告を行っている。第 2 回勉強会では昨年稼働した高輝度放射光施設 Nano Terasu に関する講演が好評であった。また、情報発信として定期刊行物の発行やホームページの運営をしている。勉強会での講演内容はニュースレターに掲載し、講演で使用したパワーポイントスライドは PDF ファイルにしてホームページで公開している。

当フォーラムの会員数は、2025 年 2 月現在で個人正会員数 79 名、団体正会員数 22 社で、退職・高齢化による個人会員の減少が続いている。会員に対して魅力的な特典を提供することが必要であると考えている。

放射線に関わる諸団体との協同にも注力している。第 71 回全国中学校理科教育研究会山梨大会に出展し、日本科学技術振興財団主催の 2024 年度放射線教材コンテストに放射線教育フォーラム特別賞を提供した。日本アイソトープ協会主催のアイソトープ・放射線研究発表会を協賛し、放射線プロセスシンポジウムに運営委員として参加している。また、事務所のある台東区のボランティア・地域活動サポートセンターに登録し、今年度は台東区地域活動団体パネル展に出展した。

当フォーラムの運営については、理事に事務局メンバーも加わった拡大理事会をオンラインで 10 回、対面で 1 回開催した。定期刊行物の編集委員会をオンラインで 5 回開催した。

機関誌「放射線教育」放射線教育フォーラム 30 周年記念号 2024 Vol. 28, No. 1 を 11 月に発行して、設立 30 周年記念式典・祝賀会で配布した。令和 6 年度の活動報告を 3 月に発行した。ニュースレターは、Vol. 88 を 6 月に、Vol. 89&90 合併号を 3 月に発行した。

ホームページ (<http://www.ref.or.jp>) では勉強会の動画やスライドファイルを公開すると共に、放射線教育誌やニュースレターのバックナンバーを掲載している。

## 2. 放射線教育フォーラム 2024・2025 年度役員名簿

理事：（理事長） 柴田誠一（京都大学名誉教授）  
（副理事長） 緒方良至（愛知医科大学 客員研究員）  
（副理事長） 田中隆一（元日本原子力研究所高崎研究所長）  
（事務局長） 吉澤幸夫（元慈恵会医科大学講師）

（以下五十音順）

朝倉 正（東京慈恵会医科大学教授）  
大森佐與子（元大妻女子大学教授）  
大野和子（京都医療科学大学教授）  
酒井一夫（東京医療保健大学教授）  
末木啓介（元筑波大学教授）  
畠山正恒（聖光学院中学校・高等学校教諭）  
林壮一（福岡大学理学部物理科学科教授）  
渡部智博（立教新座中学校・高等学校教諭）

監事： 小高正敬（元東京工業大学助教授）

幹事： 石井正則、大津浩一、菊池文誠、岸川俊明、小林泰彦、下道国、  
鶴田隆雄、坂内忠明、広井禎、古田雅一、宮川俊晴、若杉和彦

顧問： 荒谷美智、大野新一、金子正人、工藤博司、山寺秀雄

### 3. 通常総会、理事会、勉強会等の開催記録

2024 年

- 4 月 14 日（日）第 1 回理事会（オンライン、8 名）
- 5 月 12 日（日）第 2 回理事会（オンライン、7 名）
- 5 月 12 日（日）第 1 回編集委員会（オンライン、8 名）
- 6 月 16 日（日）通常総会（東京慈恵医大南講堂、委任状含む出席者 67 名）
- 6 月 16 日（日）第 3 回理事会（東京慈恵医大南講堂、7 名）
- 6 月 16 日（日）第 1 回勉強会（東京慈恵医大南講堂、44 名）
  - 勉強会プログラム
    - 講演 1. SNS 時代の放射線リスクコミュニケーション  
鳥居寛之（東京大学大学院理学研究科）
    - 講演 2. 環境中に存在する放射性核種とその起源  
柴田誠一（放射線教育フォーラム）
    - 講演 3. 「面白い」を前面に  
大津浩一（名古屋経済大学市邨高等学校中学校）
- 7 月 13 日（土）第 4 回理事会（オンライン、7 名）
- 7 月 13 日（土）第 2 回編集委員会（オンライン、8 名）
- 9 月 8 日（日）第 5 回理事会（オンライン、9 名）
- 9 月 8 日（日）第 3 回編集委員会（オンライン、7 名）
- 10 月 6 日（日）第 6 回理事会（オンライン、7 名）
- 11 月 10 日（日）第 7 回理事会（オンライン、8 名）
- 11 月 17 日（日）設立 30 周年記念式典・祝賀会（KKR ホテル東京、26 名）
- 12 月 7 日（土）第 8 回理事会（オンライン、8 名）
- 12 月 7 日（土）第 4 回編集委員会（オンライン、8 名）

2025 年

- 1 月 12 日（日）第 9 回理事会（オンライン、8 名）
- 2 月 8 日（日）第 10 回理事会（オンライン、8 名）
- 2 月 8 日（日）第 5 回編集委員会（オンライン、7 名）
- 3 月 2 日（日）第 2 回勉強会（オンライン、53 名）
  - 勉強会プログラム
    - 講演 1. 国内初の第 4 世代放射光施設 NanoTerasu の概要  
加道雅孝（量子科学技術研究開発機構）
    - 講演 2. 東電福島第一原発事故で大気中に放出された放射性物質の話  
末木啓介（筑波大学）
    - 講演 3. 放射線教育の理想と現実  
中山知恵子（神奈川大学附属中・高等学校）
- 3 月 15 日（土）第 11 回理事会（オンライン）

## 4. 「放射線教育誌」およびニュースレターの発行

### 4.1. 「放射線教育誌」2024 Vol. 28, No. 1

【巻頭言】 設立 30 周年を迎えて

工藤博司

#### 【30 周年記念によせて】

理事長挨拶

柴田誠一

放射線教育フォーラムの歩み — 草創期以後から今日までの活動 —  
逗子の会合で自ずと心に決まったこと

田中隆一

荒谷美智

2050 年カーボンニュートラルに向けたエネルギー選択

石井正則

2 度の学習指導要領改訂を振り返って

清原洋一

あの日から 14 年。「使命」から「開発」へ「支援」へ

佐々木 清

素晴らしい科学研究ツールとしての放射線

中西友子

生徒の放射線教育の機会を広げるための 14 年間

原口栄一

放射線教育から見る未来

青木久美子

「放射線教育フォーラム」と私

奈良 大

放射線、何を教える必要があるの？

末木啓介

放射化分析の医学への適用

大森佐與子

山形大学医学部重粒子センターのがん治療について

柴崎 修

放射線を知って環境を学ぶ：出前授業小学校編

幸 浩子

教育について考えたこと

吉澤幸夫

大学における放射線教育と科学者の連携

鳥居寛之

フォーラムで学んだこと

渡部智博

ホームページ、コンテスト等を通じた放射線教育

掛布智久

#### 【会員の声】

出会いは幼児向け学習会

秋津裕

原子力教育の難しさ

若杉和彦

放射線を自分ごとに

皆川喜満

放射線教育フォーラムへの期待

大嶋隆一郎

超越の放射線防護技術 2 件

川合將義

教科書の中の放射線教育

原口栄一

重粒子線治療について

柴崎修

フォーラム設立 30 周年に寄せて

八藤後秀則

会員になった動機、継続して取り組んで欲しい課題

辻 萬亀雄

放射線教育フォーラム年譜 (1994～2024)

放射線教育フォーラム勉強会一覧

放射線教育フォーラムシンポジウム一覧  
団体会員一覧

「放射線教育」投稿規定、原稿の書き方  
編集後記

緒方良至

**4.2. ニュースレター**

**ニュースレター No. 88 2024. 6**

巻頭言 ポロニウムと猫

吉澤幸夫

100 Bq の放射性物質は 1 秒間に 90 ~ 110 壊変する

吉澤幸夫

放射線教育の今までとこれから

青木久美子

放射線教育フォーラム令和 6 年度第 1 回勉強会

令和 5 年度決算書 (案)

2024 年 7 月~2026 年 6 月期役員 (案)

会務報告

原稿募集案内 (ニュースレター、放射線教育)

編集後記

緒方良至

**ニュースレター No. 89-90 合併号 2025. 3**

巻頭言 放射線教育フォーラム設立 30 周年

緒方良至

がん医療における放射線療法の役割

西村哲夫

環境中に存在する放射性核種とその起源

柴田誠一

「面白い」を前面に

大津浩一

放射線教育フォーラム令和 6 年度第 2 回勉強会

会員の声 小集会へのお誘い

吉澤幸夫

放射線教育フォーラム設立 30 周年記念式典・祝賀会

第 71 回全国中学校理科教育研究会山梨大会出展報告

田中隆一

日本科学技術振興財団 2024 年度放射線教育発表会報告

柴田誠一

書評 下道國著 「ここにもある放射能」

緒方良至

惜別 森 千鶴夫顧問

気配りの先生

緒方良至

森 千鶴夫先生を偲んで

下道國

会務報告

原稿募集案内 (ニュースレター、放射線教育)

編集後記

緒方良至

## 5. 令和6年度通常総会報告

NPO 法人放射線教育フォーラム令和6年度通常総会は6月16日（日）に東京慈恵会医科大学南講堂にて行われた。第1号議案から第6号議案について個別に審議した結果、いずれの議案も原案が承認された。

- 第1号議案 令和5年度事業報告
- 第2号議案 令和5年度決算報告
- 第3号議案 令和5年度会計監査報告
- 第4号議案 令和6年度事業計画
- 第5号議案 令和6年度予算計画
- 第6号議案 令和6年度・令和7年度役員

### 参考資料 1. 令和6年度予算書

(単位：円)

費目	2022年度 令和4年度 決算	2023年度 令和5年度 決算	2024年度 令和6年度 予算
<b>(1) 収入の部</b>			
前期繰越金			
個人会費収入	587,000	592,000	580,000
団体会費収入	1,095,000	1,095,000	1,065,000
寄附金	0	3,435	0
資料掲載料収入	253,000	253,000	198,000
雑収入 (勉強会支援金)	23,000	16,000	13,000
預金利息他	38	27	0
助成金等	0	0	0
設立30周年記念事業費	0	0	614,000
<b>(収入合計)</b>	<b>1,958,038</b>	<b>1,959,462</b>	<b>2,470,000</b>
<b>(2) 支出の部</b>	<b>0</b>		
<b>A. 事業費</b>			
勉強会・活動報告開催費	175,438	229,995	160,000
企画検討グループ	0	0	0
調査活動研究費		7,220	10,000
編集員会開催費		0	20,000
定期刊行物発行費	190,575	217,800	400,000

研究会等出展費		0	20,000
全中理他	20,000	49,634	50,000
設立 30 周年記念事業費	0	0	500,000
<b>(事業費合計)</b>	<b>386,013</b>	<b>504,649</b>	<b>1,160,000</b>
<b>B. 管理費</b>			
理事会開催費	3,300	47,062	10,000
総会開催費	27,280	39,213	40,000
旅費交通費	90,620	84,160	90,000
家賃・事務所借上代	701,250	615,300	616,000
事務所更新料 2 ヶ月分	0	0	102,000
光熱費	31,139	27,104	30,000
事務用品・消耗品費	106,552	264,041	80,000
通信運搬費	239,749	301,524	300,000
支払手数料	0	1,768	2,000
雑費	39,522	37,674	40,000
会計監査費	-55,685	0	0
予備費	0	0	0
<b>(管理費合計)</b>	<b>1,183,727</b>	<b>1,417,846</b>	<b>1,310,000</b>
<b>(支出合計)</b>	<b>1,569,740</b>	<b>1,922,495</b>	<b>2,470,000</b>
収支差額	388,298	36,967	0
<b>(当期経常増減額)</b>			
前期繰越正味財産額	3,222,844	3,611,142	3,648,109
当期正味財産増加額	388,298	36,967	0
次期繰越正味財産額	3,611,142	3,648,109	3,648,109
正味財産額 (運転資金)	1,931,080	1,968,047	1,968,047
固定金融財産額 口座 4020527	1,680,062	1,680,062	1,680,062
次期繰越正味財産額	3,611,142	3,648,109	<b>3,648,109</b>

参考資料 2. 令和 6 年度貸借対照表

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	3,727,375		
未収金	220,000		
流動資産合計		3,947,375	
2 固定資産			
無形固定資産			
差入保証金（賃料 2 ヶ月分）	90,300		
固定資産合計		90,300	
資産合計			4,037,675
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	329,566		
前受金	60,000		
預り金	0		
流動負債合計		389,566	
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	
負債合計			389,566
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		3,611,142	
当期正味財産増減額		36,967	
正味財産合計			3,648,109
負債及び正味財産合計			4,037,675

参考資料 3. 令和 6 年度財産目録

(単位：円)

科目	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
手元現金	0		
ゆうちょ銀行 当座預金	119,000		
郵便振替口座 特別口	0		
みずほ銀行鷺沼支店普通預金	959,991		
みずほ銀行虎ノ門支店普通預金	350,771		
みずほ銀行虎ノ門支店普通預金	1,680,069		
ゆうちょ銀行普通預金	617,544		
合計		3,727,375	
未収金（資料掲載料）	220,000		
合計		220,000	
流動資産合計		3,947,375	
2 固定資産			
無形固定資産			
差入保証金（家賃 2 ヶ月分）	90,300		
固定資産合計		90,300	
資産の部合計			4,037,675
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金（立替金に対する未払金、他）	329,566		
前受金（個人・団体年会費）	60,000		
預り金（源泉徴収税）	0		
流動負債合計		389,566	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債の部合計			389,566
正味財産			3,648,109

## 5. 設立 30 周年記念式典・祝賀会

放射線教育フォーラムは、中立的なボランティアとして理科と社会科教育における放射線教育を改善し、国民が正しく総合的な知識を身につけることを目的として、1994年4月1日に設立された。2000年にNPO法人の認証を受けている。2024年は設立30周年にあたり、11月17日にKKRホテル東京において記念式典・祝賀会を開催した。会場の朱鷺の間からは大手町のオフィス街が一望されて、ビル越しにスカイツリーが見えた。

式典は緒方良至副理事長の司会で行われ、柴田誠一理事長が式辞を述べた。放射線教育フォーラムの活動として、2008年告示の中学校理科学習指導要領に放射線に関する記述が盛り込まれて2012年から放射線授業が30年ぶりに復活したこと、学校教員対象のセミナーを2001年から2009年まで全国10地区で開催したこと、2018年にはDVD教材を制作したことなど過去の実績を振り返り、現在も放射線リテラシーのさらなる向上のために勉強会の開催、ニュースレターや放射線教育誌の発行を続けていることが述べられ、放射線教育誌30周年記念号を祝賀会終了時に配布することが報告された。また、自身の研究者としての経験から放射線測定的重要性を語り、放射線・放射能があらゆる分野に応用可能である魅力の中・高生に理解してもらい希望を持って欲しいことが述べられた。

来賓祝辞は中西友子東京大学名誉教授がフォーラムとの関わりと自身の研究者生活について話された。台湾中原大学の黄郁慈准教授からは「偉大な30年間おめでとうございます。日台の交流および放射線教育国際シンポジウムの開催に力を尽くされていることに感謝します。」とのメッセージが寄せられた。次いで団体会員への感謝状の贈呈があり、盛大な拍手が送られた。最後に荒谷美智顧問からの手紙と細渕安弘前理事からの祝電が紹介された。式典の後は記念撮影が行われた。

祝賀会は吉澤幸夫理事の司会で行われた。下道國藤田保健衛生大学客員教授が祝辞を述べ、フォーラムがNPO法人申請をした2000年当時の状況や放射線に関する正しい知識を提供して「説得ではなく納得してもらおう」重要性が語られた。祝宴は工藤博司前理事長の乾杯の音頭で始まった。歓談の間に参加した26名のほぼ全員からスピーチがあり、フォーラムとの関わり、放射線教育への思い、今やっている仕事、これからやりたいことなど様々な話題が出て、気がつけば定刻となっていた。田中隆一副理事長の閉会の挨拶があり、閉会となった。